

2) 生息環境の変化の程度

生息環境の調査結果は、以下に示すとおりである。

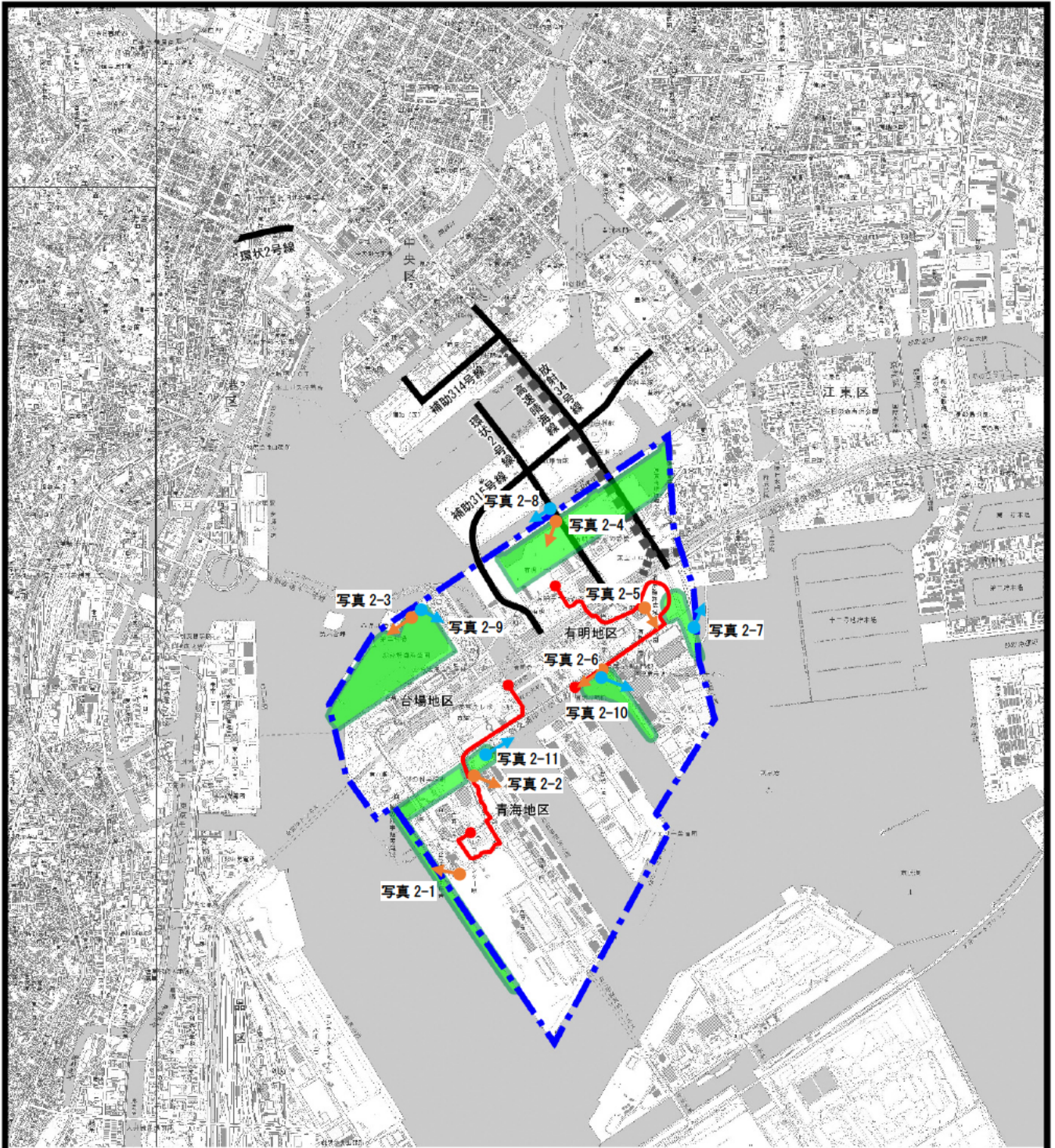
ア. 植生分布の概況（陸域環境）

計画路線周辺における植生分布の状況は、図 2-4、写真 2-1～写真 2-11 に示すとおりである。計画路線周辺は、周辺開発に伴い、本来造成地であった土地に商業・業務、住宅などが立ち並び、数多くの公園や緑地等の整備が進められている。植生分布の概況としては、現況調査時は、草本群落が自然繁茂した造成地が多かったのに対し、事後調査時点では、建築物外構や公園の植栽樹林及び緑地が増加している。








地区別にみると、青海地区は、オフィスビルや倉庫、西側はコンテナヤードが立ち並ぶ一方で公園や緑地が整備されている。現況調査時に比べ、造成地の開発が進んだものの、青海南ふ頭公園や青海中央ふ頭公園には植栽された樹林や緑地が分布している。

台場地区は、オフィスビルやショッピングセンターが立ち並ぶ一方で公園や緑地が整備されている。現況調査時に比べ、造成地の開発が進んだものの、お台場海浜公園や潮風公園には植栽された樹林や緑地が分布し、連続した植生がみられた。

有明地区は、オフィスビルや物流倉庫、コンベンションセンターなどが立ち並ぶ一方で公園もみられた。また、北部の有明一丁目には造成地等がひろがっていた。現況調査時に比べ、草本群落が自然繁茂した造成地の開発が進んだものの、南部の東京臨海広域防災公園や水の広場公園、有明西ふ頭公園には植栽された樹林や緑地が分布し、連続した植生がみられた。



凡 例

-  幹線街路
-  高速晴海線
-  調査地域
-  鳥類センサスルート
-  水鳥カウント区域
-  写真撮影地点 (陸域環境)
-  写真撮影地点 (水域環境)



Scale 1:50,000



図 2-4 写真撮影地点



写真 2-1 青海南ふ頭公園の植栽樹林



写真 2-2 青海中央ふ頭公園の植栽樹林



写真 2-3 お台場海浜公園の植栽樹林



写真 2-4 有明一丁目の草地



写真 2-5 東京臨海広域防災公園の緑地



写真 2-6 有明西ふ頭公園の植栽樹林

イ. 植生分布の概況（水域環境）

調査地域は東京湾奥部の中央防波堤内側に位置しており、その水域は隅田川をはじめとする流入河川の影響を受ける内湾域と運河域から構成されている。

また、現況調査時に比べ、有明北貯木場が埋め立てられ、陸域面積が拡大し、水域面積が減少したほか、評価書における現地調査時では、青海・台場地区の水鳥カウント区域には砂浜が存在していたが、護岸工事等でそれらは減少している。一方で、岸壁など人工構造物の潮間帯の一部に貝類の付着がみられた他、台場地区ではお台場海浜公園沿岸の一部に砂浜や人工岩礁、有明地区では水の広場公園の一部に人工岩礁といった浅場がみられるなど、新たな環境が創出されている。



写真 2-7 有明地区東側の水域

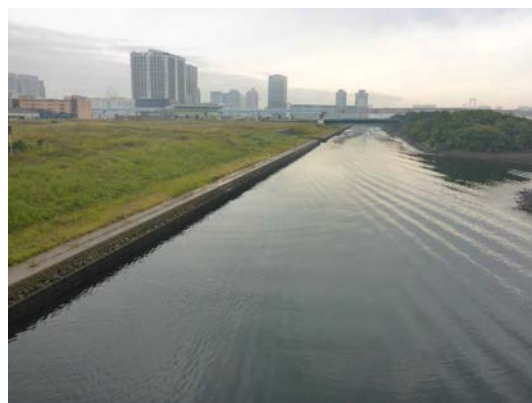


写真 2-8 有明地区北側の水域



写真 2-9 お台場海浜公園の砂浜や人工岩礁



写真 2-10 水の広場公園の水域

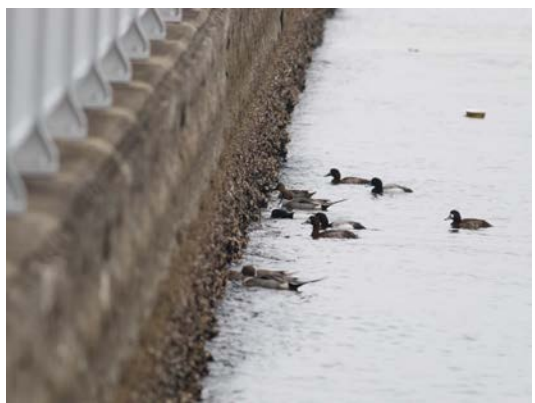


写真 2-11 岸壁潮間帯の貝類を捕食するカモ類